

利用・用途・応用分野

無料開放特許

信頼性の高い画像処理技術で内視鏡カプセル等を用いた画像処理・診断への利用

目的・課題

従来の画像処理方法では考慮されていない。画像を構成する複数の領域のコンピュータによる識別結果が、その画像を読影する読影者が識別した識別結果と同等であるか否かを評価することができる画像処理技術を提供することを目的とする。

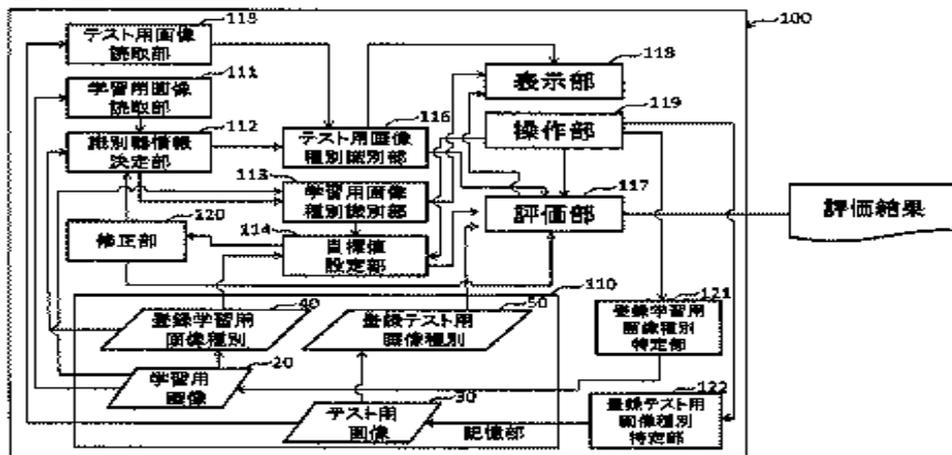
解決ポイント

本画像処理方法は、学習用画像(20)、登録学習用画像種別(40)、テスト用画像(30)、登録テスト用画像種別(50)が記憶されている「記憶部」と、学習用画像の画像情報を取得する「学習用画像読取部(111)」と、学習用画像の画像情報と登録学習用画像種別に基づき識別器情報を決定する「識別器情報決定部(112)」と、識別器情報に基づき学習用画像の画素の種別を識別する「学習用画像種別識別部(113)」と、学習用画像の画素の種別と登録学習用画像種別の第1の差分量に基づき目標値を設定する「目標値設定部(114)」と、テスト用画像の画像情報を取得する「テスト用画像読取部(115)」と、テスト用画像の画像情報と識別器情報に基づきテスト用画像の画素の種別を識別する「テスト用画像種別識別部(116)」と、テスト用画像の画素の種別と登録テスト用画像種別の第2の差分量が目標値に基づく許容範囲内であるか否かを評価する「評価部(117)」から構成される。

研究概要・アピールポイント

コンピュータによる識別結果と読影者のそれが同等であると評価を行うことで、読影者の代行として識別処理を行うことができることを保証できる。

【画像処理装置の実施の形態を示すブロック図】



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティールオー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp